

MUSEUM NEWS

2019.10 ▶ 2019.11

DECODE/出来事と記録 —ポスト工業化社会の美術

とき・9/14(土)～11/4(月・振休)
ところ・2階展示室
内容・1960年代末から70年代にかけての美術状況を、記録写真や資料との関係から検証します。近年国際的に評価が高まっている「もの派」と呼ばれる動向の見直しを契機として、関根伸夫の資料、多摩美術大学アートアーカイヴセンターと共同で進めている「もの派アーカイヴ」関連の展示、そして、この時代から現在に至るまでの美術状況を広い視野において再考するための写真や映像によるアクチュアルな展示、以上の3つの柱を中心に展示を構成します。それぞれに異なる動機から発生したこの3つの柱から派生する展示が、時に重なりながら親和性を帯び、時にズレながら挑発しあうような、刺激的な時空間を出現させることによって、「ポスト工業化社会の美術」という見取り図を提起します。

観覧料・1100円(880円)、大高生880円(710円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。
《関連イベント》
○シンポジウム「出来事と記録—写真の使命—」
とき・10/27(日)14:30～16:30(開場14:00)
ところ・2階講堂
登壇者・中嶋興(映像作家)、小泉俊己(彫刻家・多摩美術大学教授)
聞き手・平野到(当館学芸員)、梅津元(当館学芸員)
定員・100名(当日先着順) / **費用**・無料
内容・「出来事としての作品」と、その「視覚的記録としての写真/映像」に注目したシンポジウムを開催します。1960年代末の重要な美術動向を記録した中嶋興氏と、安齊重男氏の写真を継続して調査している小泉俊己氏を迎え、「写真の使命」について議論します。

○担当学芸員によるギャラリー・トーク
とき・10/12(土)、10/19(土) 各日とも15:00から30分程度
ところ・2階展示室
費用・企画展観覧料が必要です。

ニューヨーク・アートシーン ロスコ、ウォーホルから 草間彌生、バスキアまで —滋賀県立近代美術館コレクションを中心に

とき・11/14(木・県民の日)～1/19(日)※会期中に一部展示替えがあります。前期:11月14日(木)～12/15(日)/後期:12/17(火)～1月19日(日)。詳しくはホームページをご覧ください。
ところ・2階展示室
内容・第二次世界大戦後、画期的な表現を次々と生み出して注目を集めたニューヨーク。大戦中、戦火を逃れてヨーロッパから移り住んだ多くの美術家たちによって伝えられた近代美術がアメリカの若者たちを刺激し、新しい意欲的な表現へと道を開いたのです。そこで繰り広げられた、抽象表現主義、ネオ・ダダ、ポップ・アート、ミニマル・アートといった刺激的な動向は世界の現代美術をリードし、その中には草間彌生や河原温のように今日では世界的に知られる日本人作家も存在しました。この展覧会では、滋賀県立近代美術館が所蔵する日本屈指の戦後アメリカ美術のコレクションを中心に、国内の美術館に所蔵される優品を加えた約100点の作品によって、ニューヨークという都市で繰り広げられたアメリカ美術の半世紀を紹介します。

観覧料・一般1200円(960円)、大高生960円(770円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》
○ミュージアム・カレッジ2019～20世紀アメリカの視覚表現～<埼玉大学創立70周年記念事業>
 企画展にちなみ、埼玉大学教養学部と埼玉県立近代美術館が共催する公開講座です。
 ①11/16(土)「ニューヨーク・アートシーン 戦後アメリカ美術の展開と特質」尾崎信一郎(「ニューヨーク・アートシーン」展企画者/鳥取県立博物館副館長)
 ②11/23(土・祝)「ロスコ、コーネル、フレヴィン、孤独への旅、あるいは恒星の国アメリカ」加藤有希子(埼玉大学基礎教育研究センター・准教授)
 ③11/30(土)「ダンスとノン・ダンスの間:ジャドソン・グループとその周辺」外山紀久子(埼玉大学大学院人文社会科学部研究科・教授)
 ④12/7(土)「ニュー・バウハウスからMITへ:G.ケペシュのアート&サイエンス」井口壽乃(埼玉大学大学院人文社会科学部研究科・教授/副学長)
とき・各日とも15:00～16:30(開場は14:30)
ところ・2階講堂
定員・100名(当日先着順) / **費用**・無料

アート体感ワークショップ MOMASのとびら

埼玉県立近代美術館
 所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
 TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 URL・http://www.pref.spec.ed.jp/momas/
 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
 開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
 休館日・月曜日 10/14、11/4は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

とき・13:30～15:00※県民の日(11月14日)に開催するフリープログラム拡大版「もますまつり」は①10:30～12:00、②13:30～15:30の2部制です。

対象・幼児から大人まで(ただし、プログラムによって異なります。)
費用・無料
申込方法・館内で配布する申込用紙(ホームページからもダウンロード可)によりFAXでお申し込みいただくか、ホームページから直接お申し込みください。
 11月分のお申込みを10/1(火)から受け付けます。
 11/2(土) わくわく鑑賞ツアー[どなたでも]※申込不要
 11/9(土) 親子クルーズ(MOMASコレクション)
 [小・中学生+保護者]
 11/14(木) もますまつり[どなたでも]※申込不要
 11/23(土・祝) みる+つくる(MOMASコレクション)
 [小・中学生]

12月分のお申込みを11/1(金)から受け付けます。
 12/7(土) みる+つくる(企画展物語)[小・中学生]
 12/14(土) みる+つくる(MOMASコレクション)
 [小・中学生]
 12/21(土) アート★ビンゴ[どなたでも]※申込不要

MOMAS コレクション (収蔵品展)

2019年度 第2期
とき・7/27(土)～10/20(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
 ※会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇ **セレクション: モネとかピカソとか**
 西洋近代絵画を中心にコレクションを紹介します。
 ◇ **うつしと重なり—版画の諸相**
 版画表現の多彩さを、様々な作家の作品を通して紹介します。
 ◇ **小特集: バウハウス 100年**
 バウハウスの創立100年を記念し、関連作家の作品などを通してその活動を紹介します。

2019年度 第3期
とき・10/26(土)～2/2(日)※会期中一部作品の展示替えがあります。前期:10/26(土)～12/8(日)、後期:12/10(火)～2/2(日)
ところ・1階展示室
観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)
 ※()内は20名以上の団体料金。中学生以下と障害者手帳をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料。
 ※10/26(土)、10/27(日)を除く会期中の毎日14時から、美術館サポーター(ガイド・ボランティア)が展示作品について解説します。参加にはMOMASコレクション観覧料が必要です。

◇ **セレクション: ドニとかフジタとか**
 レオナルド・フジタの《横たわる裸婦と猫》のほか、西洋と日本の近代絵画を紹介します。
 ◇ **近代日本画における中国**
 近代における中国絵画や文化の影響について、日本画のコレクションを通して探ります。
 ◇ **ゆれるかげ**
 秋岡美帆《ゆれるかげ》を中心に、光と影、樹木などをテーマにした作品を紹介します。

《関連イベント》
○サンデー・トーク
内容・学芸員が展示作品から1点を選んで解説します。
費用・MOMASコレクション観覧料が必要です。

とき・11/17(日)15:00～15:30
担当学芸員・佐原しおり
作品・正木隆《造形01-13》2001年

一般展示室 (地階)

※日程・内容は変更される場合があります。最新の情報は各主催者へお問い合わせください。
 ※展示により開室時間(特に最終日の終了時刻)が異なります。

◆10/1(火)～10/6(日)
 ART PHOTOGRAPHY ICHIE 2019 展(写真)……一般展示室1
 第35回アート現宇展(油彩、アクリル、コラージュ)……一般展示室2
 六甲長浜第12回写真展 ベトナム編(写真)……一般展示室3
 ◆10/8(火)～10/13(日)
 第52回第一美術協会埼玉支部展(公募)(水彩、油彩、版画、工芸)……一般展示室1
 第19回美術協会純展・埼玉支部展(水彩、油彩、ペン画)……一般展示室2
 musa2 アート&デザイン展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画)……一般展示室3
 第30回溪水会展(日本画、水彩、油彩、書、水墨画、墨彩画、ちぎり絵)……一般展示室4
 ◆10/15(火)～10/20(日)
 第31回全日中展(日中書画芸術大展)(日本画、水彩、書、水墨画ほか)……一般展示室1～3
 ひとつひとつ個展(油彩)……一般展示室4
 ◆10/22(火)～10/27(日)
 第40回太平洋埼玉展(水彩、油彩、版画)……一般展示室1

第53回埼玉三軌展(水彩、油彩)……一般展示室2・3
 全日写真浦和支部写真展(写真)……一般展示室4
 ◆10/29(火)～11/3(日)
 第19回地平展(日本画、水彩、油彩、ドローイング、版画、彫刻ほか)……一般展示室1
 悠友展(水彩、油彩)……一般展示室2・3
 第23回西遊会美術展(水彩、油彩、版画)……一般展示室4
 ◆11/6(水)～11/17(日)
 2019CAFネビュラ展(日本画、油彩、版画、彫刻ほか)……一般展示室1～4
 ◆11/20(水)～11/24(日)
 第62回埼玉県高校美術展(日本画、水彩、油彩、ドローイングほか)……一般展示室1～4
 ◆11/26(火)～12/1(日)
 令和元年度(第58回)埼玉県高等学校書道展覧会(書)……一般展示室1～4

MOMAS コレクション第3期 近代日本画における中国

仏教絵画の伝来以降、日本は中国大陸から、画法、画題、画論などあらゆる面から絵画を学びました。日本の画家は長らく中国を範と仰ぎ、中国の影響なくして日本絵画の成立、発展はありませんでした。西洋絵画の受容が本格化した明治時代以降、新しい日本絵画として誕生した「日本画」の画家もまた、中国の文化や古典絵画から影響を受けました。MOMAS コレクション第3期では、中国に関連のある日本画作品を取り上げます。ここでは展示作品のなかから、土田麦僊の《甜瓜図(てんかず)》(1931年)をご紹介します。

緑のマクワウリが描かれた本作は、画面の横幅いっぱい葉や茎が絡まるように広がっています。所々に虫食いのある葉の外周は、薄く白っぽい黄色に変わっており、その枯れ具合は、同時に実の成熟を伝えています。蝶の白、マクワウリの黄色、緑と色数が抑えられた分、細い描線のしなやかさが際立ち、写実的でありながら清爽さも感じられる作品となっています。



土田麦僊《甜瓜図》1931年(後期展示)

麦僊は、京都画壇で活躍した画家で、東西の古典美術を広く学び、日本絵画の平面性に西洋絵画の色彩感覚や空間構成を取り入れるなど、東西絵画の特質を融合した美を追い求めた画家として知られています。鈴木松年や竹内栖鳳に師事し、1918年には文展に縛られない自由な創作の場として村上華岳らと国画創作協会を結成。1921年から1年半、欧州を遊学した後は、徐々に東洋画に関心を寄せ、院体画や草虫図など中国古典絵画を学び、造詣を深めました。

《甜瓜図》は、草虫図でよく描かれるウリがモチーフとなり、構図が明時代の画家、呂敬甫の《瓜虫図》(根津美術館蔵)に酷似していることから、中国古典絵画との直接的な影響関係がよくあらわれた作品と言えます。一方で細密な写生に基づく植物表現、装飾的な形態、繊細な色彩表現は麦僊独特のものです。麦僊は、ただ中国古典絵画への回帰、模倣を行うのではなく、その特質を明確に捉えたうえで独自の表現に活かし、日本画革新の一端を担ったといえます。

今回の展示では、《甜瓜図》のほか、菱田春草、橋本関雪、吉川霊華らの作品をご紹介します。お楽しみいただけたら幸いです。(M.K.)

ミュージアム・ショップおすすめ商品

懐かしいのに新しい、インスタントのフィルムカメラをご紹介します。ご存知のとおり、手にとったらすぐに撮影できます。新しいのはメーカー問わずフィルムの入替えができること。撮りきった後も繰り返し使えます。付属のカラーフィルターを使えば、フラッシュの色を変化させることも可能(赤・黄・青)。室内、屋外どんなシーンも、普通の写真からアート風な写真まで楽しめるカメラです。(M.N.)



1,926円(税別)

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。JR東京駅、新宿駅から北浦和駅まで、それぞれ約35分。
 ※当館に来館者専用の駐車場はありませんが、提携駐車場「三井のリパーク 埼玉県立近代美術館東」では駐車料金の割引があります(企画展観覧で300円引き、MOMASコレクション観覧で100円引き)。団体バスは事前にご相談ください。お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたしますが、台数に限りがありますので予めご了承ください。